

令和7年度 大会要項集

■ 目 次 ■

- 1 各大会に参加申し込みをする際の留意点・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2 各大会の参加料の送付について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 3 県大会における競技運営留意事項・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3.4
- 4 体育館施設の使用についてのお願ひ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 5 県大会シード及び抽選について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 6 令和7年度大会計画・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 7 第45回全日本バレーボール小学生大会・・・・・・・・ P 8~11
 - 鹿児島県大会開催要項・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8.9.10
 - ブロック大会開催要項・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10
 - 大会参加申込書・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11
- 8 第33回 夏季大会実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
- 9 第3回 アンダー10 キッズバレーボール交流大会実施要項・・・・ P 13
- 10 安藤旗 第37回 小学生男女優勝大会実施要項・・・・・・・・ P 14
- 11 第38回 送別大会実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15
- 12 植野旗 第32回 新人大会実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16
- 13 加盟登録規程の補足説明・・・・・・・・・・・・・・・・ P 17
- 14 男女混合の部実施要綱・・・・・・・・・・・・・・・・ P 18
- 15 スコアシート (図-1)・・・・・・・・・・・・・・・・ P 19
- 16 鹿児島県小学生バレーボール連盟服装規定・・・・・・・・ P 20
- 17 日本小学生バレーボール連盟指導者資格要領・・・・・・・・ P 21
- 18 全日本バレーボール小学生大会におけるベンチ入りの条件・・・・ P 22
- 19 ユニフォームに係わること・・・・・・・・・・・・・・・・ P 23
- 20 支部結果報告(様式-1)・・・・・・・・・・・・・・・・ P 24

体罰・暴力・暴言などのない笑顔と歓声のあふれる大会をみんなでつくりましょう

— 鹿児島県小学生バレーボール連盟 —



■大会参加申し込みをする際の留意点■

各大会についての申込みは、この大会要項を熟読し各チームで責任をもって行うこと。
鹿児島県小学生バレーボール連盟（以下「県小連」という）本部から各大会の案内は送付しないので、大会に日程、申し込み期限、大会費の振り込み日等を必ず確認すること。

1. 各大会への参加申し込みは J V A-M R S より行うこと。(男子・女子・混合とも)
必要事項の漏れがある場合、大会出場を認めない場合がある。
受講証明書番号記入欄は、スポーツ少年団の指導者認定番号ではない。
県小連で実施した指導者研修会の受講番号。また、資格欄には全国小学生バレーボール指導者講習の一次・二次・三次の区別と受講証番号もしくは日本スポーツ協会の指導者認定証の認定番号を記入すること。選手及びベンチスタッフは全員 M R S 登録が必要。
2. 申込みについて
大会ごとに参加申込の締切日を設定する。締切日は必着になるので、大会ごとの締切日を確認の上、遅れることが無いよう送付すること。
大会申し込みは、各大会とも約 1 カ月前から受付を行う。
男子と女子別々に登録してある場合は、混合での MRS での申し込みができない場合がある。
混合チームで申込する場合は、混合で登録すること。
申込期日を過ぎた場合は、JVA-MRS から申込みできないので早めに手続きすること。
3. M R S 登録用紙や払込受領証の控えを郵送することは不要。
4. 各大会の詳細要項は、**鹿児島県バレーボール協会ホームページ**（以下 「**県協会ホームページ**」 という）に大会 1 週間前までに掲載する。
チーム指導者、保護者は必ず確認すること。
5. 組合せや大会結果についても、各チームでインターネットを確認すること。

鹿児島県バレーボール協会のホームページアドレス
<https://www.kva-v.com/>
ホームページカテゴリーの「小学生」をご覧ください。

■大会の参加料の送付について■

参加料は大会実施要綱に示した通りとする。現金を封筒で送付しないこと。

参加料の支払いは、郵便局備え付けの「払込取扱票」の用紙を使用して払い込むこと。

また、ネットバンキングでの支払いも可能とする。

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。		
017400	口座番号(右詰めで記入)	017400	
149137	金額	149137	
	千 百 十 万 千 百 十 円		
	¥6000		
加入者名	料 金	加入者名	料 金
荻迫 幸子		荻迫 幸子	
通信欄	備考	通信欄	備考
大会名：〇〇大会 チーム名：〇〇〇JVC 希望ランク：女子〇		金額	千 百 十 万 千 百 十 円
〇〇〇-〇〇〇〇			¥6000
鹿児島県〇〇市〇〇町〇〇番地〇		おなまえ	〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇〇 〇〇〇		ご依頼人	鹿児島県〇〇市〇〇町 〇〇番地〇
(ご連絡先電話番号)		日 附 印	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)		料 金	円
これより下部には何も記入しないようご注意ください。		備 考	

上記用紙に

口座記号 01740=0= 口座番号 149137 (右詰で記入)

加入者名 荻迫 幸子

通信欄に 大会名 チーム名 男子・女子・混合及び希望ランクを記入すること。

文字は楷書で正確に書き込む。

ご依頼人欄には、登録してある代表者名をかくこと。(間違いを防ぐため)

※大会参加料は、各大会の申し込み期日までに入金すること。

■第45回全日本バレーボール小学生大会 鹿児島県大会に係るブロック(支部)大会についてのごお願い

・ブロック大会の報告について

ブロック大会は県大会の一環として開催されるので、ブロック大会終了後すぐに各支部長はブロック大会開催要項・参加チーム数・試合結果を競技委員長まで報告すること。

各支部の参加配分は4月末時点での登録チーム数により決定し、各支部へは5月初旬に連絡を支部長宛てに競技委員会より行う。

・県大会への申込みについて

県大会への申込みは、男子と女子、混合とも県スポーツ協会のHPから申込みをすること。

各支部において参加資格等の確認は適正に行うこと。

棄権がある場合、支部長は速やかに競技委員長へ報告すること。

※各支部からの報告は郵送またはメールでお願いします。

〒895-0025 薩摩川内市向田町 1387-7 久木野 周作 宛 kenkyougi@gmail.com

■令和7年度 鹿児島県大会における競技運営留意事項■

1.【棄権と不完全チームへの対応】

各チームは大会（試合）に遅れないように気象情報や交通事情を考慮すること。
気象条件、交通事情、その他チーム事情により試合当日、試合開始（設定）時間に試合ができない状況の場合は、競技規則、競技要項並びに県小連競技要項に基づく対応とする。

2.【競技エリアの設営】

大会へ参加する全チームで会場の競技エリアの設営を行うこと。
設営は、各チームから2名参加すること。
設営は、自チームが1試合目の試合をするコートとする。
設営に協力する方は、設営の方法がわかっている方とし、監督、指導者でなくても構わない（指導者で設営方法理解していない方は、準備のための入館を拒否する）
設営とは、ネット、ウォームアップエリアなど小学生バレーボール競技を行うための設営のことをいう。※競技エリアの設営に係る方は、指定の時間までに体育館 玄関前に集合すること。

3.【受付】

チーム代表者（保護会、育成会など）又は監督が受付を行うこと。受付時に領収証の受け取りとエントリー表の提出をおこなうこと。（エントリー表は、受付時に必ず提出すること）
エントリー表に記載された選手は、令和7年度のJVA-MRS及び県小連登録者であること。

4.【監督会議】

会場設営完了後に本部付近で監督会議を実施する
監督会議には、当日の試合で監督になる方が参加すること。
（但し、都合により監督が不在、遅れる場合は、代理者が出席できる）

5.【ベンチスタッフの変更手続き】

大会事前に提出した指導者と大会当日（2日間大会の場合は1日目のみ変更可能）のベンチスタッフが変更になる場合は、監督会議前に“ベンチスタッフ変更届”を提出すること。なお、“ベンチスタッフ変更届”で変更・追加される指導者も現にMRS登録されている者でなければならない。
“ベンチスタッフ変更届け出用紙”は大会本部に用意する。
ベンチスタッフは、令和7年度のJVA-MRS及び県小連登録者であること。

6.【試合球の準備と空気圧チェック】

大会試合球は合成皮革軽量4号カラーボール検定球で、特に定めのない場合は大会本部では準備しないので、各チームで準備をすること。（空気圧は本部で計測するが各チームでも確認しておくこと）大会で使用する試合球は、年度ごとに男女で交代する。

令和7年度 【男子】 モルテン 【女子】 ミカサ 【混合】 モルテン 注) ただし、新人大会は翌年度の試合球とする。（男子・混合 ミカサ、女子 モルテン）
--

各チームは監督会議終了後、直ちに試合球の空気圧チェックを行うため、本部付近に持ってくる。
審判戦記任者は空気圧チェックを実施する。

7.【ベンチスタッフの資格、服装及びマナー】

チーム役員(監督・コーチ・マネージャー)は同一大会での兼任はできない。

ベンチスタッフは、MRS 登録された者とする

監督は試合中、県小連主催の指導者講習会の受講証(期限切れでないこと)を掲示すること。

ベンチスタッフは規程のマーク(監督、コーチ、マネージャー)を左胸に提示すること

全日本バレーボール小学生大会は「全国指導者研修会受講証明書(一次・二次・三次)」または「日本体育協会公認スポーツ指導者登録証」をもった者がベンチスタッフであること。

(試合中は提示すること)

ベンチスタッフは短パン・ハーフパンツ・Tシャツは不可とし、服装は統一されたものであること。(別途服装規定を定める)

また、**試合中**の手袋、マフラー、ネックウォーマー等は禁止する。ベンチコートも禁止とする。

子どもたちへの暴力・暴言は厳に慎み、教育的配慮をすること。

大会中に、体罰、暴言などが見受けられた場合、退場処分及び倫理委員会規程に基づき処分する。

ベンチには選手と指導者に必要なもの以外は持ち込まない

飲物入れは、原則はスクィーズボトルとすること。

(容器が倒れて液体がこぼれる容器は使用不可とする。ペットボトル単独は使用不可)

スクィーズボトル入れはベンチ内のイスの下か、ベンチサイドに置くこと。プレーの障害にならないように配慮すること。会場によってはベンチサイドの施設壁際に置くこと。

ベンチ脇にキャンピングカート(キャリーカート)のような大型カートは置かない。

8.【試合進行】

試合進行は

公式練習は、指示が無い場合はチームの1試合目のみとする。

試合間は、5分間(記録用紙が本部返却後)とする。ただし、連続の場合は10分間とする。

公式練習以外の練習は隣接するコートの試合の妨げにならないようにすること。

9.【審判】

審判は相互審判とし、組み合わせ表により確認し行う

審判は相互審判で実施する。各チームで公認審判員(JVA又は県小連)を必ず1名以上帯同すること。

審判は規定の服装で胸部に規定のワッペンを付けて行う。**(服装規定に別途定める)**

笛は、短・長とも主審副審はそれぞれに準備をすること。

帯同審判員のいないチームは大会に参加ができない。

10.【大会組み合わせ表】

事前に県協会ホームページに公表される組み合わせ表を確認する

11.【その他】

選手やベンチスタッフなどの登録などで不正が発覚した場合は、試合終了後でも失各となる。

■ 体育館施設の利用についてのお願い ■

1. 体育館の開場は設営を午前 8 時 00 分から予定する。選手入場は 8 : 30 から予定する。
(施設により異なるため、各大会運営要綱を県ホームページで確認すること。)
会場に早く着き過ぎて係員の方に迷惑をかけないこと。
また、入り口ドアの開放時になだれ込むことが無いよう整然と入場すること。
※前日からの場所取りや勝手に入館しての場所取りはしないこと。
2. 横川体育館の玄関前に車を乗り入れないこと(カラーコーンとロールバーでせき止めしている)
玄関前は車の重量でコンクリートが陥没するため。
3. 入館の時、靴は必ずチームの控え場所に持って行くこと。絶対に玄関に置きっぱなしにしないこと。
4. 駐車場は決められた駐車エリア以外は駐車禁止とする。
身勝手な行動で他の人の迷惑になるようなことはしないこと。
5. トイレを利用する場合は必ず備え付けのスリッパに履き替えること。
トイレの便器、手洗い器などに弁当や不要な汁、汚物などを流したり、放置しないこと。
6. 館内の電気コンセントの利用や館内でのコンロは勝手に使用しないこと。
お湯等はポットに入れて持参すること。
7. 会場内のロビーや廊下での練習、遊びや飲食はしないこと。
会場、施設内の備品(椅子その他会場の所有物)は勝手に使用しない。また移動させない。
8. 各施設の更衣室や会議室などの共通エリアはチーム控室として勝手に使用しないこと。
9. 会場内での盗難については各自で責任をもって対応すること。県小連は一切の責任をおおわない。
10. 施設内の器具や設備等を破損した場合は実費弁償とする。(個人又はチーム負担とする)
11. 幼児がいる場合は事故が起きないように保護者は自己責任で監視すること。
12. 弁当を業者に頼まれた場合は必ず引き取りの確認をすること。弁当殻を会場に放置しないこと。
また、置き場所の指示がある場合は遵守すること。
13. 喫煙は定められた場所ですること。トイレ内も禁煙！！
14. 飲物の空き缶やボトルは必ず持ち帰りそのままにしないこと。
15. 帰る時には来た時よりもきれいにし、忘れ物の無いようにすること。忘れ物は処分する。

■ 応援・個人情報保護についてのお願い (マナーを守って) ■

1. 太鼓や玉入りのペットボトル、大きなメガホン、メガホンをつぶした大音量がするものは使用禁止とする。
2. 試合セット間の応援席の移動はしないこと。
3. 試合中にカメラのフラッシュは使用禁止。動作を確認してから使用すること。
4. 応援幕、旗は観客の邪魔にならないように取り付けること。
(応援幕、旗は自チームが試合のときだけ取り付ける。幕の取り付け場所は手すりの下部に取り付けること。)
5. SNS 利用の際は、個人情報が漏洩しないように十分配慮すること。

■県大会シード及び抽選について■

県小連主管の下記大会のシード及び組み合わせ抽選は次のようにする。

1. 各大会の成績により、シードチームを設定する。成績は直前の大会を参考にし、不参加の場合は以下の大会の成績の累計ポイントによりシードチームを決定する。(シードチームについては支部は考慮しない)

大会名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
新人大会	10	8	6	5	4	3	2	1
全日本小学生大会	10	8	6	5	4	3	2	1
夏季大会	10	8	6	5	4	3	2	1
男女優勝大会	10	8	6	5	4	3	2	1

第1シードは優勝チーム、第2シードは準優勝チーム、第3シードは優勝チームとの敗者、第4シードは準優勝チームとの敗者、第5シードは準々決勝で優勝チームとの敗者、第6シードは準々決勝で準優勝チームとの敗者、第7シードは準々決勝で3位チームとの敗者、第8シードは準々決勝で4位チームとの敗者とする。

なお、過去の累計が同点であった場合は、直前の大会の成績を優先する。

2. 各大会組み合わせ抽選方法と摘要シード法

(1)全日本バレーボール小学生大会 鹿児島県大会

ア、4月末までの登録チーム数により支部ごとの出場配分を決定する。

イ、女子A、混合Aパートは新人大会の成績により8チームをシード、男子パートは4チームをシードする。

(2)夏季大会 (フリー参加)

ア、申込み希望により、男子・女子A・B・混合パートA・Bパートに分けて実施する。

イ、女子A・混合パートAは全日本大会県大会の成績により8チームをシードする。

ウ、男子パートは全日本大会県大会の成績により4チームをシードする。

エ、地区(支部)を考慮し抽選する。ただしシードチームはその限りではない。

(3)男女優勝大会(安藤旗) (出場チーム数限定)

ア、8月末までの登録数により、支部ごとに出場配分を決定する。

イ、夏季大会の成績により、それぞれの女子A、混合Aパートは8チームをシードする。

男子チームは、4チームをシードとする。全国大会出場チームは第1シードとするが、夏季大会に参加した場合は夏季大会の成績を優先する。

(4)送別大会 (フリー参加)

ア、申込み希望により、男子・女子A・B・混合A・Bに分けて実施する。

イ、女子A、混合Aは男女優勝大会の成績によりそれぞれ8チームをシードする。

ウ、男子は男女優勝大会の成績によりそれぞれ4チームをシードする。

エ、参加チーム数により、I・IIパート分けをする場合がある。

(5)新人大会 (フリー参加)

ア、申込み希望により、男子・女子A・女子B・混合A、混合Bパートに分けて実施する。

イ、シードチームは設けず、支部推薦順位を考慮したうえでのフリー抽選とする。

ウ、支部推薦順位は支部より報告があった場合のみとする。(男・女・混合とも推薦順位を優先)

(6)県スポーツ少年団バレーボール競技別交歓大会

ア、県スポーツ協会と県スポーツ少年団の主催となり、各地区の少年団登録数の比例配分となる。

イ、シードチームは設定せず、地域を考慮したフリー抽選とするが、県大会成績も参考とする。

ウ、地区より欠場チームがあった場合は登録チームの多い地区順に補充する。

(県スポーツ協会より指示があった場合はこの限りではない)

エ、参加申し込みは各市町村スポーツ少年団事務局へ所定の申込書を提出する。

オ、女子の部・男子の部・混合の部とする。その他は開催要項により実施する。

■ 令和7年度大会計画

No.	日 程	大会名	種 別	予定会場	備 考
1	6/21(土) 6/22(日)	第45回 全日本バレーボール 小学生大会 鹿児島県大会	男子	横川体育館、他	男子フリー 女子 32 チーム 混合 32 チーム
			女子		
			混合		
2	7/26 (土) 7/27 (日)	第33回 県小学生バレーボール 夏季大会	男子	牧園アリーナ 横川体育館 他	フリー
			女子		
			混合		
3	8/2 (土) ～ 8/4 (月)	スポ少九州大会		Fアリーナいちき串木野	
4	9/7 (日)	第53回 県スポーツ少年団競技 別交歓大会バレーボ ール競技	男子	牧園アリーナ他	主催：県スポ ーツ協会、県スポ ーツ少年団
			女子		
			混合		
5	11/15.16 (土・日)	第3回 アンダー10 キッズ交流 バレーボール大会	男子	横川体育館 加世田運動公園体育館 他	フリー ※メールでの申 し込み
			女子		
			混合		
6	11/23 (日)	安藤旗 第37回 県小学生バレーボール 男女優勝大会	男子	加世田体育館 他	男子フリー 女子 24 チーム 混合 24 チーム
			女子		
			混合		
7	2/7 (土) 2/8 (日)	第38回 県小学生バレーボール 6年生送別大会	男子	牧園アリーナ、 横川体育館 他	フリー
			女子		
			混合		
8	2/21 (土) 2/22 (日)	植野旗 第32回 県小学生バレーボール 新人大会	男子	牧園アリーナ 横川体育館、他	フリー
			女子		
			混合		

※会場の割り当ては参加チーム数等、諸事情を考慮し、申込締め切り後に最終決定する。

会場欄はあくまでも予定。

※夏季及び送別、新人大会は、参加チーム数により、日程と会場は決定する。

大会日程は参加チーム数により、1日日程と2日日程とする。

参加チーム数が多い場合は、2日間開催とする。

※すべての大会で、監督は県小連指導者講習会の受講証を掲示すること。

また、ベンチスタッフは全員MRS登録をしておくこと。

※実施要項を熟読の上、参加申込みすること。

申込みは男子・女子・混合ともJVA-MRS（インターネット）から行うこと。

入金の確認が取れない場合は参加を認めない。

■第45回 全日本バレーボール小学生大会（令和7年度） 鹿児島県大会 開催要項

【主催】公益財団法人日本バレーボール協会/日本小学生バレーボール連盟/読売新聞社

【後援】公益財団法人日本スポーツ協会・日本スポーツ少年団/報知新聞社/鹿児島県教育委員会
鹿児島県スポーツ協会・鹿児島県スポーツ少年団

【オフィシャルボール】(株)ミカサ・(株)モルテン

【協力】(株)デサント

【主管】鹿児島県バレーボール協会/鹿児島県小学生バレーボール連盟

1. 日程：女子の部・男子の部・混合の部 6月21日（土）、6月22日（日）8：30 開場受付

2. 会場：横川体育館、吉田体育館（ほか 予定（現時点未定）

3. 参加資格

(1) 2013年4月2日以降に生まれた者で、令和7年5月1日現在、鹿児島県内の国公立の小学校及び各種学校に在学していること。

(2) 公益財団法人日本バレーボール協会加盟団体登録規程に基づき、令和7年4月1日以降、都道府県大会参加申込書締め切り日までに、公益財団法人日本バレーボール協会、MRS登録を済ませていること。

なお、都道府県スポーツ少年団に加盟しているチームも同様の手続きを済ませること。

また、県小連へは従来通りに独自の登録届用紙による登録届も済ませること。

(3) 男子はブロック予選なしのフリー参加とするが、4月30日までの登録数により変更もある。

女子、混合は各支部登録数により、比例配分により割り当てる。4月30日までの選手6名以上が在籍しているチームの支部登録数による。

(4) 棄権ブロックの補充は次のとおりとする。

- ・ブロック大会への参加が多い支部を優先する。
- ・参加数が同数の場合は参加率で決める。(参加チーム数÷登録チーム数)
- ・最終的には実行委員会が決定し、支部長に連絡する。

(5) 混合についての編成の仕方は、別途定める。(男女混合の部実施要綱)

4. 競技規則：令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。

ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

5. 競技方法：①女子及び混合の部は各支部から推薦されたチームによるトーナメント戦を行う。

②男子の部はフリー参加としトーナメント戦を行う。

6. チーム編成

(1) 全ての大会（ブロック大会・地区大会）において、チームは監督1名、コーチ2名まで、マネージャー1名、**選手14名以内**とする。

(2) 都道府県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できる。選手については、同一団体内で参加資格を満たしているものであれば、ブロック大会・地区大会時と違う選手に交代してもよい。ただし、同一団体であっても、他の部門に参加している場合には、大会期間中（予選から本大会）は他のチームの構成員として参加することはできない。同じ部門に2チーム参加している場合には、Aチームのメンバー14名に満たない場合にはBチームのメンバーから追加できる。

※全国大会においても同一団体で参加資格を有しているものであれば、都道府県大会時と違う選手に交代してもよい。

- (3) 監督・コーチは成人であること。また、ベンチスタッフの1名以上は、日本小学生バレーボール連盟主催の指導者講習会（一次・二次のいずれか）を受講した者、または公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールのスタートコーチ・コーチ1～4のいずれかの資格か日本小学生バレーボール連盟認定指導者でなければならない。
又、試合時に証明書等を胸にさげていなければならない。
- (4) 全国大会出場においても指導者資格は（3）と同様とする。
- (5) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る。（MRSに役員登録している方もチームスタッフとして登録が必要）
監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、Tシャツは不可とし、監督、コーチ、マネージャー章を各チーム側で用意し、必ず左胸につけること。
ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。
Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。
- (6) 成人のベンチスタッフは、日常子どもたちの健全育成を目指して指導に当たっている都道府県大会実行委員会が認めた者であること。暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、指導者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。
- (7) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手はベンチの3分の1以内とする。またコート上には2名位以内とする。他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制限の対象とならない。監督は試合時に、新年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておく。
- (8) 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に1人以上いること。

7. ベンチスタッフの資格

6項（3）の通りとする。また、監督は県小連が主催する県指導者研修会を受講し、受講証明書（4年間有効）を胸部にさげていなければならない。

8. 審判員：公益財団法人日本バレーボール協会又は県小連の公認審判員とする。

また、県審判員委員会が認める審判とする。

帯同審判を帯同しない場合は、試合への出場ができない。

9. 競技服装：選手の背番号は1～99番とするが、1～12番が望ましい。

ユニフォームは、ユニフォーム規程を遵守すること。

10. 使用球：公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量カラーボールを使用する。

円周 63.0±1.0cm 重量 210±10g 内気圧 0.30～0.325kg/cm²

ミカサ MVA500 モルテン V4M5000-L

11. 表彰：どのパートも1位から3位(2チーム)までを表彰する。

・優勝チーム 賞状 優勝旗 優勝盾 代表証

・準優勝チーム 賞状 準優勝盾

・第3位チーム 賞状 第3位盾

12. 申し込み：申込締め切り **2025年5月30日(金)**

男子・女子・混合の部ともJVA-MRSより申し込むこと。

大会参加費は従来通り郵便局振込みとする。(受領証の控えは郵送しないこと。)

13. 大会運営費：1チーム 6,000円を郵便局より参加料として指定口座に振り込む。
14. 組合せ：県小連で公開にて抽選を行う。
日時：2025年6月7日（土）14時00分 場所：伊敷校区公民館（鹿児島市）
15. ブロック大会：別紙「ブロック大会開催規定」に基づいて開催し、県大会参加チームを推薦する。各支部長は大会結果を別紙の様式にて競技委員長に報告すること。
16. その他：出場選手はスポーツ傷害保険に加入していること。
大会結果は全国大会及び九州大会への推薦資料とする。
組合せ及び大会結果等は各チームで県協会 HP より取得すること。

■第45回 全日本バレーボール小学生大会(令和7年度)鹿児島県大会〇〇ブロック大会開催要項

支部、ブロック大会の要項は原則、鹿児島県大会開催要項に準ずる。

注) 各ブロック大会はすべてこの「開催規定」通りの要項を作成し実施する。

1. 主催：鹿児島県大会実行委員会
2. 主管：鹿児島県小学生バレーボール連盟 〇〇支部
3. 日時：2025年〇〇月〇〇日（ ）
4. 会場：〇〇〇〇〇〇〇〇体育館
5. 参加資格、競技規則、競技方法、競技規則、チーム編成などは、
第45回 全日本バレーボール小学生大会 鹿児島県大会 開催要項に準ずる。
6. ブロック配分
(1) 男子はブロック予選なしのフリー参加とする。但し4/30までの登録数によっては変更も有る。
(2) 女子、混合は支部を単位とする9ブロックで、登録数により比例配分で出場チーム数が決定する。チーム数は4/30までの登録数で比例配分され、各支部長へ通達される。
7. 使用球：公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量カラーボールを使用する。
円周 63.0±1.0cm 重量 210±10g 内気圧 0.30~0.325kg/cm²
ミカサ MVA500 モルテン V4M5000-L
8. 表彰：各支部で行う。
9. 参加料：ブロック大会の計画による。
10. 報告：各支部長はブロック大会の結果報告を別紙の様式にて期日までに競技委員長へ報告する。
11. その他：
(1) 競技者の髪留めピンやけがの想定されるものの使用は禁止する。(危険予防のため)
(2) 大会結果は鹿児島県大会の出場推薦資料とする。

■第33回 鹿児島県小学生バレーボール 夏季大会実施要項

1. 主管・主催：鹿児島県小学生バレーボール連盟
2. 趣旨：鹿児島県小学生バレーボール連盟に登録してあるすべてのチームが自由に参加できる大会であり、日頃相対することの無い地域のチームと対戦したりプレーを見たりする事により小学生バレーボールの現状を知り事故を顧みる機会とともに同行者としての友情を深める場とする。
3. 日時：2025年 7月26日(土)、7月27日(日) 午前8時30分開場受付(予定)
参加チーム数によって組合せを決定するため、日程調整は申込受付後に決定する。
4. 競技・形式：希望パートへのフリー参加とする。パートは、男子、女子A・B、混合A・Bとする。試合形式は、リンクトーナメント方式で実施する。
5. 会場：参加チーム数等の申込み状況を考慮し、会場は抽選後に決定する。
6. 参加資格：令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会及び県小連登録チームであること。
男女混合の部について、編成方法は別途定める。(男女混合の部実施要綱に依る)
公認審判員を帯同していること。
7. チーム：選手12名以内、監督・コーチ・マネージャー各1名とし、ベンチスタッフの2チーム以上の兼任はできない。ただし、複数チームの参加は認める。
8. 競技規則：令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び小学生バレーボール競技規則により行い、ラリーポイント制(1・2セット21点、3セット15点)を採用する。
9. 競技方法：
 - (1) 希望パート別にリンクトーナメント方式で実施するが、チーム数が7チーム以下の場合は他のパートへの編成もあり得る。
 - (2) 女子A、混合Aパートは前大会の結果をもとに8チームをシードする。
男子パートは前大会の結果をもとに4チームをシードする。
 - (3) 女子A・混合Aパートの上位8チームは男女優勝大会のシード権を獲得する
男子パートの上位4チームは男女優勝大会のシード権を獲得する。
 - (4) 棄権チームがあった場合は会場ごとに一部組み合わせ抽選を行う場合がある。
トーナメントへの辞退があった場合は他のチームを繰り上げる。
10. 参加料：1チーム 6,000円 郵便局の払込取扱票で指定口座へ送金すること。
11. 申込方法：大会参加申込みは、男子・女子・混合ともJVA-MRSから行うこと。
組合せ表は各チームで県協会HPより取得すること。
12. **申込締切：2025年6月29日(日)**
13. 組合せ：2025年 7月 5日(土) 14時00分から抽選会 伊敷校区公民館 参観自由
14. その他：
 - (1) 試合は各チームでの相互審判で、公認審判の帯同審判員が行う。
 - (2) 審判(ファーストレフリー、セカンドレフリー)は規定の服装で審判を行うこと。
 - (3) ベンチスタッフは規定の胸章を用意し、ホイッスルは長・短を準備すること。
 - (4) 監督は県指導者研修会の受講証明証を胸部に提示すること。
 - (5) 選手はスポーツ安全保険に加入しておくこと。

■第3回アンダー10 キッズ交流バレーボール大会実施要項

1. 主催 鹿児島県小学生バレーボール連盟
2. 趣旨 低学年主体のバレーボール大会を実施し、バレーボールへの意欲・関心を高め競技者拡大を図るとともに、小学生バレーボールの普及と発展に努める。
3. 期日 **令和7年11月15日(土)、16(日)**
4. 会場 横川体育館、加世田運動公園体育館他 予定
5. 参加資格
 - (1) 4年生以下の小学生。種目は、男子、女子、混合の部とする。
 - (2) チームがMRS登録していれば、個人登録は問わない。
 - (3) スポーツ保険などへの加入をチーム責任で行う。
6. チーム編成 選手12名以内、監督・コーチ・マネージャー各1名とし、ベンチスタッフの2チーム以上の兼任はできない。ただし、マネージャーは成人でなくてもよい。
7. 競技規則 令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び小学生バレーボール競技規則により行い、一部ローカルルールを採用する。
8. 競技方法
 - (1) 4チームによる総当たり戦(1コート6試合)を基本とするが、3チームの場合は工夫して実施する。
 - (2) **21点3セットマッチ**とする。
 - (3) **組み合わせは女子・男子・混合を区別せず**、応募状況(構成する学年の人数等)や会場の都合に応じて指導普及委員会にて決定する。
 - (4) 公式練習は各チーム初戦のみ行う。
 - (5) 使用球は、人工皮革軽量カラー4号球(**モルテン**)を使用。
 - (6) 審判は相互審判(2名)で行う。資格の有無は問わないが、服装は県小連帯同審判員規定に準ずる。なお、競技者並びにベンチスタッフの服装についても同規定に準ずる。
 - (7) 人数が足りない場合等、補助員は上級生等でも差し支えない。
 - (8) 組み合わせ後の棄権においては、参加料の払い戻しはありません。余裕を持たせた人数構成(1チーム7名以上)を推奨いたします。
9. 表彰 交流会なので各ブロック1位のみ表彰する。
10. 参加料 1チーム 3,000円
郵便局の払込取扱票で指定口座へ送金(24日振込期限)すること。
※県小連令和7年度大会要項集2ページを参照。
11. 申込方法
 - (1) 右の専用フォームにて行う。
10月上旬までに、県協会のホームページに掲載。
 - (2) チーム名は、登録チーム名が分かるように工夫する。
 - (3) 大会日時の希望は、基本的に受け付けません。
12. 申込締切 **令和7年10月24日(金)17:00(期限厳守)**

二次元コード
10月上旬掲載

【問い合わせ先】 片平 健士 kenshi16216@gmail.com

※想定を超える申込があった際、会場の都合上、申込を早めに締め切ることもあり得ます。

■安藤旗 第37回 鹿児島県小学生バレーボール 男女優勝大会実施要項

1. 主管・主催：鹿児島県バレーボール協会
2. 主管：鹿児島県小学生バレーボール連盟
3. 協賛：(株) モルテン、(株) ミカサ
4. 日時：2025年11月23日(日) 午前8時30分から開場受付(予定)
5. 会場：参加チーム数等の申込み状況を考慮し、会場は抽選後に決定する。
6. 参加資格：
 - (1) 令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会及び県小連登録チームであること。
 - (2) 女子・男子と混合の部については8月末時点での登録数により比例配分をする。
なお、出場チームは各支部長の推薦による。
 - (3) ベンチスタッフは全員がMRS登録をしていること。
 - (4) 混合の部については、編成方法は別途定める。
 - (5) 監督は県小連主催の指導者研修会の受講をしていること。
 - (6) JVA又は県小連公認審判員を帯同できること。
7. チーム：選手12名以内、監督・コーチ・マネージャー各1名で2チーム以上の兼任はできない。ベンチスタッフは服装を統一し、規定の胸章と受講証明証を胸部につける。
8. 競技規則：令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び小学生バレーボール競技規則により行い、ラリーポイント制(1・2セット21点、3セット15点)を採用する。
9. 競技方法：トーナメント方式で実施し、夏季大会成績により8チームはシードされる。
三位決定戦は行わない。
10. 表彰：優勝・準優勝・三位2チームまでを表彰する。
11. 参加料：1チーム 6,000円 郵便局の払込取扱票で指定口座へ送金すること。
12. 申込方法：大会参加申込みは、男子・女子・混合ともJVA-MRSから行うこと。
組合せ表は各チームで県協会HPより取得すること。
13. **申込締切：2025年10月31日(木)**
14. 組合せ：2025年11月1日(土) 14時00分から抽選会 伊敷校区公民館 参観自由
15. その他：
 - (1) 試合は各チームでの相互審判で、公認審判の帯同審判員が行う。
 - (2) **審判(ファーストレフリー、セカンドレフリー)は規定の服装で審判すること。**
 - (3) ベンチスタッフは規定の胸章を用意し、ホイッスルは長・短を準備すること。
 - (4) 監督は県指導者研修会の受講証明証を胸部に提示すること。
 - (5) 選手はスポーツ安全保険に加入しておくこと。
 - (6) **棄権ブロックの補充は次のとおりとする。(ただし、抽選後の補充は行わない)**
 - ・支部予選大会への参加が多い支部を優先する。
 - ・参加数が同数の場合は参加率で決める。(参加チーム数÷登録チーム数)
 - ・最終的には実行委員会が決定し、支部長に連絡する。

■第37回 鹿児島県小学生バレーボール 6年生送別大会実施要項

1. 主管・主催：鹿児島県小学生バレーボール連盟
2. 趣旨：6年生に小学生最後の大会を楽しませ、中学校でもバレーボールを続けようとする意欲を継続してもらうために実施する。
3. 日時：2026年 2月7日(土)、 2月8日(日) 午前8時30分開場受付(予定)
参加チーム数によって組合せを決定するため、日程調整は申込受付後に決定する。
4. 競技・形式：希望パートへのフリー参加とする。パートは、男子、女子A・B、混合A・Bとする。試合形式は、リンクトーナメント方式で実施する。
5. 会場：参加チーム数等の申込み状況を考慮し、会場は抽選後に決定する。
6. 参加資格：令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会及び県小連登録チームであること。
男女混合の部について、編成方法は別途定める。(男女混合の部実施要綱に依る)
公認審判員を帯同していること。5年生以下だけのチームは参加できない。
7. チーム：選手12名以内、監督・コーチ・マネージャー各1名とし、ベンチスタッフの2チーム以上の兼任はできない。ただし、複数チームの参加は認める。
8. 競技規則：令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び小学生バレーボール競技規則により行い、ラリーポイント制(1・2セット21点、3セット15点)を採用する。
9. 競技方法：
 - (1) 希望パート別にリンクトーナメント方式で実施するが、**希望パートの申し込みチーム数が7チーム以下**の場合は他のパートへの編成もあり得る。
 - (2) 女子A、混合Aパートは男女優勝大会の結果をもとに8チームシードする。
ただし、男子は男女優勝大会の結果をもとに4チームシードとする。
 - (3) 棄権チームがあった場合は会場ごとに一部組み合わせ抽選を行う場合がある。
トーナメントへの辞退があった場合は他のチームを繰り上げる。
 - (4) **構成メンバー表やラインアップシートに6年生を確認できるように取り決め事項を定める。**
10. 参加料：1チーム 6,000円 郵便局の払込取扱票で指定口座へ送金すること。
11. 申込方法：大会参加申込みは、男子・女子・混合ともJVA-MRSから行うこと。
組合せ表は各チームで県協会HPより取得すること。
12. **申込締切：2026年1月4日(日)**
13. 組合せ：2026年1月17日(土) 14時00分から抽選会 伊敷校区公民館 参観自由
14. その他：
 - (1) 試合は各チームでの相互審判で、公認審判の帯同審判員が行う。
 - (2) **審判(ファーストレフリー、セカンドレフリー)は規定の服装で審判を行うこと。**
 - (3) ベンチスタッフは規定の胸章を用意し、ホイッスルは長・短を準備すること。
 - (4) 監督は県指導者研修会の受講証明証を胸部に提示すること。
 - (5) 選手はスポーツ安全保険に加入しておくこと。

■植野旗 第32回 鹿児島県小学生バレーボール 新人大会実施要項

1. 主管・主催：鹿児島県小学生バレーボール連盟
2. 趣旨：5年生以下のチームの大会を行うことにより、新年度へ向けてのスタート意識を盛り上げる。
3. 日時：2026年 2月21日(土)、 2月22日(日) 午前8時30分開場受付（予定）
参加チーム数によって組合せを決定するため、日程調整は申込受付後に決定する。
4. 競技・形式：希望パートへのフリー参加とする。パートは、男子、女子A・B、混合A・Bとする。但し、参加チーム数が7チーム以下の場合は他のパートへの編成もあり得る。
試合形式は、リンクトーナメント方式で実施する。
5. 会場：参加チーム数等の申込み状況を考慮し、会場は抽選後に決定する。
6. 参加資格：令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会及び県小連登録チームであること。
男女混合の部について、編成方法は別途定める。(男女混合の部実施要綱に依る)
公認審判員を帯同していること。
7. チーム：選手12名以内、監督・コーチ・マネージャー各1名とし、ベンチスタッフの2チーム以上の兼任はできない。ただし、複数チームの参加は認める。
8. 競技規則：令和7年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び小学生バレーボール競技規則により行い、ラリーポイント制(1・2セット21点、3セット15点)を採用する。
9. 競技方法：
 - (1) どのパートもシードチームは設定しない。(支部推薦順位は参考とする)
 - (2) 女子A・混合パートAの上位8チームは翌年度の全日本大会のシード権を獲得する。
ただし、男子は上位4チームがシード権を獲得する。
 - (3) 棄権チームがあった場合は会場ごとに一部組み合わせ抽選を行う場合がある。
トーナメントへの辞退があった場合は他のチームを繰り上げる。
10. 参加料：1チーム 6,000円 郵便局の払込取扱票で指定口座へ送金すること。
11. 申込方法：大会参加申込みは、男子・女子・混合ともJVA-MRSから行うこと。
組合せ表は各チームで県協会HPより取得すること。
12. 申込締切：2026年 1月25日(日)
13. 組合せ：2026年 1月31日(土) 14時00分から抽選会の実施
伊敷校区公民館 参観自由とする。地域制を考慮したうえでのフリー抽選とする。
ただし、支部からの推薦順位の報告があった場合は支部の成績を参考にして組み合わせを行う。(各支部より報告があった場合に限る。)
14. その他：
 - (1) 試合は各チームでの相互審判で公認審判の帯同審判員が行う。
 - (2) 審判(ファーストレフリー、セカンドレフリー)は規定の服装で審判を行う。
 - (3) ベンチスタッフは規定の胸章を用意し、ホイッスルは長・短を準備すること。
 - (4) 監督は県指導者研修会の受講証明証を胸部に提示すること。
 - (5) 選手はスポーツ安全保険に加入しておくこと。

■加盟登録規定の補足説明について（通知）

1. 人数のいかんにかかわらず県小連に男女別の登録をする。同時に公益財団法人日本バレーボール協会への登録(以下 MRS と呼ぶ)も行う。
構成員が 1 名でも登録できるので、男子・女子・混合別に登録をする。
2. 全日本バレーボール小学生大会(ブロック大会・県大会・全国大会)の参加資格について
 - (1) 全日本バレーボール小学生大会(ブロック・県・全国)への参加資格は、都道府県大会締切日までに届けられた団体(チーム)とする。出場枠の比例配分は、登録一次締め切りの 4 月 30 日までに登録されてチーム数で行う。(6 人以上で登録)
 - (2) ブロック大会の構成員は(女子及び混合チーム)ブロック大会の申し込み締切日までに MRS と県小連への登録を済ませておくこと。(ベンチスタッフも MRS 登録が必要)
 - (4) 県大会の構成員(男子)は、6 月 1 日までに MRS と県小連の登録を済ませた者に限る。
 - (5) 登録届提出時にチーム構成員が 6 名に満たない場合でも登録は可能であるが、大会出場は不可能なので全日本バレーボール小学生大会県大会の出場チーム数配分には算定しない。
3. 混合の登録について
 - (1) 共通の代表者のもとに団体が組織され、同一の組織で活動し、県小連に混合チーム登録をしている団体とする。ただし、男子及び女子のみの団体に混合選手が新規加入したが、男女それぞれで団体登録をするに至らない(単独でチームを組めない)場合はその限りではない。
 - (2) 初回登録時に、男子・女子・混合のカテゴリーに登録する。
 - (3) 混合チームの登録は、県小連では所定の登録用紙で混合チームとして登録し、かつ MRS でも混合チームとして登録する。途中で混合から単独へ、また単独から混合へ変わる場合は再度登録しなければならない。
 - (4) 混合と女子或いは男子登録をしているチームで混合チームをつくる場合の不足人数の補充はすでに登録してある同一団体・同一代表者名(同じチーム内から)の男子或いは女子をいれることができる。
4. **登録料 県小連への登録料を定める。**
 - 1 カテゴリー : 7,000 円
 - 2 カテゴリー (男子と混合、男子と女子、女子と混合) : 14,000 円
 - 3 カテゴリー (男子と女子と混合) : 21,000 円
5. 登録の発効 (登録規程第 6 条)
加盟団体登録の届け出及び登録構成員の追加あるいは変更の届け出は、県小連がこれを承認した日よりその効力を発生するものとする。届出は手続き書類を記入し、必ず支部長経由で提出のこと。
注) MRS 登録手続きをした後、会費の入金が期間内にできないと登録が取り消されるので注意。

■男女混合の部 実施要綱 編成等について

【参加資格】

1. 男女混合の部に出場するチームは、共通の代表者のもとに団体が組織され、県小連に男女チームの登録をしている団体でなければならない。
ただし、男子及び女子の単体に混合選手が新規加入し、男女それぞれで団体登録をするに至らない(単独でチームが組めない) 場合はその限りではない。
2. 男女混合の部に出場する選手は、基本的に母体となる団体(同一団体)の男子は男子チーム、女子は女子チームにそれぞれ MRS 登録をしなければならない。(指導者も MRS 登録が必要)

【チーム編成】

3. 男女混合チームは母体となる団体(同一団体)の男子チームと女子チームのメンバーから結成されなければならない。
ただし、男子及び女子のチームとして単独では参加できない(男女それぞれが 5 人以下)場合は、この限りではない。
4. 同じ母体(同一団体)のチームは、構成人数にかかわらず、男子・女子・混合のカテゴリーを選択できる。

【競技規則】

5. 公益財団法人日本バレーボール協会の定める 6 人制競技規則及び小学生バレーボール競技規則により行い、ラリーポイント制(1・2セット 21 点、3セット 15 点)を採用する。
6. **コート内には、男子又は女子が常に 1 人以上であれば、男女混合チームとして編成することができる。男女比は問わないが男女いずれかが 0 人であってはいけない。**
7. 試合途中で人数に不具合が(0 人)が出ないように審判団は対応するが、
 - (1) 選手交代において、吹笛しその後、審判団が気付いたとき
→ 正当な男女比を守り Delay Warnig (ディレイ ワーニング)
 - (2) 選手交代させてしまい、何ラリーか続けたのち発覚したら
→ 正当なチームの得点は生かし、不当な選手交代を行ったチームの得点をその時点までさかのぼって取り消す。
サーブの権利を移動し、ゲームを再開する。
 - (3) 不法な選手交代に気づかず、ゲームを終了して、その後に発覚した場合→大会委員長をはじめ関係各位と協議のうえ対応する。
 - (4) 試合の途中で、男女混合比が混合の条件を満たさない状況になった場合は、没収試合とする。(けがなどにより参加選手の男女どちらかが 0 人となった場合など)
8. 構成メンバー表のレ点チェックとスコアシーートのレ点チェック
 - (1) **混成チームの構成メンバー表は、男子にレ点チェックを入れる**
 - (2) **記録用紙(スコアシート)の、男子の背番号の左側にレ点を記入する。(図-1 参照)**

【その他】

9. 混合チームの監督は母体となる男女チームの監督と兼任することはできない。
 10. 男女の地区予選及び県大会に出場した選手は、男女混合の部には出場することはできない。
 11. 男女混合の部は全国大会出場のための強化策としてチームを編成することが無いようにする。
- ≪男女混合チームの参加事例≫

鹿児島 VBC (母体)	鹿児島 VBC 男子	男子	4 人
男子 4 人	鹿児島 VBC 女子	女子	12 人
女子 12 人			

出場できる選択肢

①鹿児島 VBC 女子	女子 12 人 (男子 4 人参加できない)
②鹿児島 VBC 混合	男子 4 人 女子 8 人 (女子 4 人参加できない)
③鹿児島 VBC 女子	女子 8 人
鹿児島 VBC 混合	男子 4 人 女子 4 人

■スコアシート 男子にレ点記入

(図-1)

大会名 第44回全日本バレーボール小学生大会

開催地 東京都渋谷区 試合番号 A-21721 開催日 2020年 月 日 試合設定時刻 0 : 41

会場名 東京体育館 男子 女子 混合 別名チーム (B) オレンジJVC(愛知) 対 新習ガラン(東京都府県) (A)

チーム 新宿G (A) 選手 (B) ORG チーム 選手

コート番号とマッチナンバーを記

男子選手には番号の左に✓

正式名称(都道府県)

貼り付け

レフミリートサイン欄

正式名称(都道府県)

拡大

チーム 新宿 G (A)					
I	II	III	IV	V	VI
1	4	✓11	2	3	5
				✓6	

(B)	ORG チーム				
I	II	III	IV	V	VI
3	4	✓5	✓6	✓1	✓2
	9			12	

注： チーム“新宿 G”の11番6番、チーム“ORG”の5.6.1.2番は男子

■ 県小連服装規定

鹿児島県小学生バレーボール連盟の主催及び主管になる大会参加時に於ける、競技者及びベンチスタッフ並びにレフリーの服装を次のように定める。この規定は公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則及び全国大会の競技規則に準じて作成され、大会運営時に於ける共通の理解を図るために定めるものである。この規定はブロック大会にも適用する。

【競技者】

競技者の服装は、ジャージ・パンツ・ソックス及びスポーツシューズからなる。また、ジャージ・パンツ・ソックスの色とデザインはチームで統一されなければならない。(競技規則第2章第3項)

ただし混合チームの場合は男女別が望ましい。ユニフォームの下からはみ出す服装は禁止とする。半袖の下に長袖のアンダーウェアの着用やパンツの下からはみ出すスパッツの着用、ジャージの下に著しく目立つハイネック等のアンダーシャツの着用を示す。また、腰に巻くサポーター類はユニフォームの下に装着し、足に巻くチューブ・ブメントなどはソックスの下に装着し見えてはならない。

ソックスはくるぶしがかくれるものとし、統一されなければならない。競技者はけがの原因となるもの(女子の髪留め)や自らのプレーが有利となるようなものを身につけてはならない。ただし、手荒れなどで手を保護する目的での手袋は許可する。(事前申告すること)

【ベンチスタッフ】

ベンチスタッフの服装は統一されなければならない。

ネクタイ及びジャケットか、競技者と同じウェアを着用すること。または、ベンチ役員全員が統一されたウェアを着用しても良い。(競技規則第2章第3項附則の6)

統一された服装とは、襟付きシャツ、長ズボンで色・デザイン・生地とも同じものをいう。ただしワンポイントのロゴマーク等の違いについては許容範囲とする。しかしライン等の違いやトレーナーの丸首、V首などの違いは認められない。試合中の手袋やベンチコートでのベンチ入りは禁止とする。ジャンパーやトレーナーの着用は統一されたものなら認められる。トレーナーの下には統一された襟付きのシャツを着用するものとする。(子どもがマネージャーの場合は適用しない)

監督がネクタイ及びジャケットで、コーチ・マネージャーが統一された服装であれば認められる。

【帯同審判員】

ファーストレフリー、セカンドレフリーはJVA公認及び県小連認定の審判員は規定の審判服を着用すること。

1. JVA公認審判は正規の服装にワッペンをつけておこなうこと。
2. 県小連認定の審判員は、上が白のポロシャツ、下が黒か紺のパンツに決められたワッペンをつけて審判する。また、トレーナーやセーターを着用する場合は、白を基調としたものとする。ポロシャツ、パンツ等についてはロゴのワンポイントまでは許容するが、ラインなどは認めない。また、ベンチコートやジャンパーなどの着用も認めない
3. 正規の服装で審判しない場合、帯同者として認めない

【胸章及び各種受講証明書等の取り扱いについて】

ベンチスタッフは試合中、規定の胸章を左胸部に提示していなければならない。県大会に出場するチームの監督は指導者研修会を受講しなければならない。(4年に1回)試合中は受講証明書を胸部に提示していなければならない。また、全国につながる大会においては、ベンチスタッフのだれか一人が全国指導者講習会の一次・二次・三次の受講者であるか、日本スポーツ協会の指導員資格保持者でなければならない。試合中は資格証明証を胸部に提示しなければならない。

■日本小学生バレーボール連盟指導者資格要領

(目的)

この要領は、バレーボールの普及・発展に寄与する小学生バレーボール指導者の指導者資格の範囲や、全日本バレーボール小学生大会などにおいて、ベンチ入りのための参加要件など、小学生バレーボール指導者資格としての取り決めを示すものである。

(日本小学生バレーボール連盟認定指導者の定義とその有効期限)

(1) 日本小学生バレーボール連盟認定指導者は、下記の修了者とする。

- ①改訂新・全国小学生バレーボール指導者一次講習会修了者（2021～実施）
- ②日本スポーツ協会認定スタートコーチ（バレーボール）取得者及び2019 一次講習会修了者
- ③旧・全国小学生バレーボール指導者一次・二次講習会修了者（～2018 年度）で、更新講習修了者（新一次講習受講含む）。

(2) 日本バレーボール協会認定準指導員は、新・全国小学生バレーボール指導者二次講習会修了者とする。（2021～）

(3) 上記日本小学生バレーボール連盟認定指導者・日本バレーボール協会認定準指導員の有効期限は、それぞれ受講年度を含め4年間とし、4年間の内に各都道府県で開催される更新講習を受講しなければならない。（※全国小学生バレーボール指導者一次講習会<1日目のみ>を更新講習として認める。）

(4) 全国小学生バレーボール指導者講習会新二次講習会の指定科目を履修し、所定の試験を合格した受講者は、公益財団法人日本スポーツ協会コーチ1（バレーボール）専門科目修了者となる。尚、同受講者は、公益財団法人日本スポーツ協会認定コーチ1（バレーボール）共通科目（45時間）を取得し、日本スポーツ協会に、申請手続きを行うことで、公益財団法人日本スポーツ協会コーチ1（バレーボール）として認定される。（受講年度を含め4年以内）

※但し、この専門科目の有効期限が、何らかの事情により、期限を超えた場合は、公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会の審査により、有効期限の延長を認めることがあるので、その際は、日小連指導普及委員長まで問い合わせのこと。8年以上経過した場合は失効となる。

■全日本バレーボール小学生大会におけるベンチ入りの要件

(1) 全日本バレーボール小学生大会のブロック・地区・都道府県大会予選会及び全国大会においては、日本小学生バレーボール連盟認定指導者（1次・2次）・日本バレーボール協会認定準指導員及び公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)認定バレーボール（コーチ1・コーチ2・コーチ3・コーチ4）のいずれかが最低一人はベンチに入っていないなければならない。

(2) 上記(1)は、公益財団法人日本スポーツ協会の制度改正及び日小連指導者資格要領改正の時限措置として、**2025年度まで**は、旧・全国小学生バレーボール指導者1次・2次講習会受講者が最低1人はベンチに入ること、同様に扱うこととする。

※本件は、日小連が全日本バレーボール小学生大会の主催者として、要項に記載し実行する

(指導者資格の時限特例措置)

(1) 日本スポーツ協会資格において、受講終了後手続きまでに時間を要すことで、大会に間に合わない場合は、都道府県小連の理事長が、受講済みで目下申請中である旨の証明書を大会実行委員会宛に提出することで、資格取得予定者として、そのベンチ入りを認めることができる。

(その他)

(1) スポーツ少年団交流大会における扱いについては、スポーツ少年団の規定に則り、扱うこととする。

(2) 小学生バレーボールの指導者は、公益財団法人日本バレーボール協会のMRSに小学生のカテゴリーとして登録をしなければならない。尚、登録をしていない指導者は、大会においてベンチ入りをする事ができない。

(3) 小学生バレーボールの指導者は、チームの指導にあたり、宣誓書によりその指導における姿勢を宣誓しなければならない。尚、宣誓の際は、指導者の状況把握のために各指導者の資格に関する情報等を提供するものとする。尚、この個人情報、その他の目的で使用することはできないものとする。

(附則)

この要領は平成28年3月21日より施行する。

この要領は平成31(2019)年3月21日より改正する。

この要領は令和3(2021)年4月1日より改正する。

この要領は令和7(2025)年4月1日より改正する。

ユニフォームに係わること

- 1
 - ①ユニフォームとは、ジャージ(シャツ)、ショーツを指す。6人制においてはソックスもユニフォームに含まれる。
 - ②ユニフォームは配色やデザインが統一されていなければならない。
(混合の場合は男性と女性でユニフォームをわけることが望ましい)
 - ③チームは、カラーの異なった種類のユニフォーム(ジャージ(シャツ)・ショーツ)を2セット(2着)以上、準備することが望ましい。
 - ④ユニフォームのメインカラー(主たる色)は、概ね2/3以上を占めていることとする
 - ⑤選手番号はユニフォームの色と対照的な色で、明確に表示されていなければならない。
また、文字が枠だけのもの、生地と対照的でない色、柄と番号が同化している、番号が光ってみづらいなど、選手番号がわかりづらい物としない。
 - ⑥選手番号の場所、高さ、字幅について
シャツ胸部・中央 高さ10cm以上 字幅 2cm以上
シャツ背部・中央 高さ15cm以上 字幅 2cm以上
- 2 (公財)日本バレーボール協会競技要項より(抜粋)
チームネーム
ゲームシャツの袖に(袖が無い場合には背面襟下に)所属する都道府県名を付けてよい。
なお、都道府県名の大きさはチーム名よりも小さいこと。(高さが低いこと)
- 3 日本小学生バレーボール連盟(通称:日小連)ユニフォーム規程より(抜粋)
選手番号についてはルールブック・競技要項の両方に記載されている。
都道府県名の大きさと位置 チームネームより小さい(高さ) 袖か襟下
※ 日小連では、ノースリーブのユニフォームを認めていないことから、襟下には付けられない。

